

令和 3 年度

事業報告書及び決算書

公益財団法人 平塚市生きがい事業団

事業報告書

令和3年4月1日

）

令和4年3月31日

目 次

事業報告書

事業概要	1
評議員会に関する事項	9
1 評議員会の開催状況	9
2 評議員名簿	9
理事会に関する事項	10
1 理事会の開催状況	10
2 役員名簿	11
配分金等に関する事項	12

決算書

貸借対照表	13
正味財産増減計算書	14
財産目録	16
財務諸表に対する注記	17
付属明細書	19

監査報告書

監査報告書	20
-------	----

事業概要

令和3年度は、新型コロナウイルスが依然として猛威を振るい、事業団でも5名の会員が感染しています。集団感染となることが心配されましたが、幸いにも広がることなく業務に大きな支障はでていません。また、コロナ対策として事務所にサーモカメラ2台を設置し、会議や事務所内に入室する際は必ず体温測定を行うことや、会員や事務所職員が感染した場合の対処方法や連絡・報告先などを職員間で共有し、さらに、会員への周知や検査キットの購入など、事前にできる対策を整えて事業運営に取り組んできました。残念ながら不特定多数の方が来場される「事業団まつり」については、中止としましたが、その他の業務はできるだけ実施しています。コロナ危機が続く中、当事業団でも依然として厳しい労働環境が続いていますが、対策を取りつつ業務を進めています。

今年度は第4次中期計画の最終年度で、今後5年間に取り組むべき課題をまとめ、第5次中期計画を策定しました。また、事業評価としては、事業計画に位置付けられた34の実施事業で、評価項目「達成」「不十分」「着手中」「未着手」のうち、「達成」が29事業（85%）、「不十分」との評価が5事業（15%）となりました。なお、「着手中」「未着手」の評価はありませんでした。「不十分」と評価された理由は、コロナ感染症により催し物の中止や説明会等が開催できなかつたことが主な理由となっています。

さらに、会員数が増加したことに伴い事務所が狭くなったことから、市へ事務所移転の要望を行い、令和4年度から移転先などの検討を行っていただけることになりました。

業務実績は、コロナ前の令和元年度の実績に迫る勢いで回復し、請負・委任事業と派遣事業を合わせた最終契約金額は6億9,017万余円（前年実績6億3,661万余円）、率にして8.4%の増となりました。主な要因としては、前述のコロナウイルス感染症の影響で、回復できていない業種もありますが、請負事業では各種講師・夜間建物管理・駐車場駐輪場管理などは大幅に回復しています。また、派遣事業の契約金額は1億5,606万余円で前年度より2,300万余円、率にして17.3%の増となりました。派遣事業が占める割合は、年々増加し22.6%となっています。

会員の登録状況は、年度末の会員数は1,878人となり、3年連続で増員となりましたが、目標の1,920人には届きませんでした。国による「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正により、雇用年齢が5歳引き上げられたことにより、60～64歳の男性会員が半減し、人材確保には苦戦を強いられています。入会者数は206人で前年度と比較して17人の増となっています。これは、入会者紹介キャンペーンでの報奨金の支給や神奈川県シルバー人材センター連合会と共催した会員が受講条件となる技能講習会の開催、入会届を持参して説明会に参加する「即日入会」を始めたこと、地域情報誌に会員の就業内容や人柄を紹介する記事を掲載したことなどがあげられます。また、退会者数は、病気などの理由により108人となり、前年度と同数となりました。

今後も、コンプライアンスを遵守し、高齢者への生きがいの提供や地域社会に貢献する公益性の高い事業団を目指して、会員・役職員が総力を結集して事業を展開していきます。

1 会員数増加と会員のスキルアップ

○会員の状況

(単位：人)

	R3.3.31	入会者数	退会者数	増減	R4.3.31
男	1,273	132	74	58	1,331
女	507	74	34	40	547
計	1,780	206	108	98	1,878

○就業年齢ガイドラインを改正し、自動車運転の年齢を2歳引き上げて75歳までとし、85歳で就業終了としていたものを条件付きで85歳以降も就業可能としました。

○月2回の会員登録説明会とは別に市内公民館に出向き出張説明会を実施しました。

開催日	場所	参加者数
9/30	神田公民館	4名
10/29	金目公民館	9名
12/27	横内公民館	4名
1/28	松が丘公民館	2名

○就業に活かせる技能講習会を組み合わせた登録説明会を実施しました。

開催日	内容	参加者数
4/20	障子の張り替え	8名
5/28	網戸の張り替え	5名
7/29	筆ペン	3名
8/24	植木せん定	コロナ感染症の影響で受講者が集まらず中止
2/22	窓拭き	コロナ感染症の影響で中止
3/22	植木せん定体験会	8名

○コロナ禍の対応として、Web上でビデオを閲覧したことにより、入会登録説明会に参加したことと同様に扱うことにより入会者数が増加しました。

年度	入会者数
2	37名
3	50名

○新規会員を獲得するために、紹介会員と新規会員に報奨金を支給し、新規に会員が入会しました。

年度	入会者数	報奨金を支払った入会者数	報奨金を支払った額
2	32名	32名	64,000円
3	35名	29名	58,000円

○事前に必要書類を郵送し、入会登録説明会時に会員登録する即日入会制度を6月より導入し、63名が入会しました。

○会員向けに円滑な事業運営とサービスの質の向上のため、接遇研修や技能講習会を実施しました。

(新規就業会員研修)

開催日	名 称	参加者数	内 容 等
11/24	新規就業会員接遇研修	11名	初めて就業した会員を対象に外部講師及び事務局職員による接遇や会員の心構え、就業上の注意事項、留意点などについて
12/13		18名	
2/3		まん延防止発令により中止	

(意識・技能向上研修)

開催日	名 称	参加者数	内 容 等
4/6、3/4	スマホ教室	延 23 名	会員を対象に開催 ・スマホの使い方 ・LINE等の使い方
4/27	臨時合同班長会議 植木・除草・公共の班長会議	26名	植木・除草・公共の各班長を対象に開催 ・熱中症の対応について
6/16	刈払機講習会	10名	除草班会員を対象に開催 ・草刈作業の安全作業マニュアルの説明 ・刈払機実習
6/22、 12/16	介護予防・日常生活支援総合事業 A 類型サービス従事者研修	延 5 名	市地域包括ケア推進課が実施した研修会にサポート班会員が参加 ・介護保険制度説明 ・従事者の心がまえ ・訪問型サービス A のサービス内容 ・高齢者の特徴理解と対応方法 ・サービス提供者宅訪問マナー
9/1、 3/11	植木班長会議（書面对応）	延 52 名	植木班長・副班長を対象に書面での伝達 ・発注者等からのクレームについて ・傷害・物損事故について ・墜落制止用器具の支給について ・コロナ対応 ・事故取扱基準の改正
9/8、 3/14	サポート班定例会議 （通院・外出介助、家事代行）	延 26 名	サポート班会員を対象に開催 ・配分金改定 ・就業内容の是正 ・通院介助配分金、現金回収手数料の改定 ・訪問型サービス A の就業内容確認、従事者増員に向けての意向調査 ・質疑応答、意見交換会

9/8、 3/14	サポート班定例会議 (ハウスクリーニング)	延 14 名	サポート班会員を対象に開催 ・配分金改定 ・就業開拓 ・就業会員の確保・育成 ・令和4年度軽作業代行事業サービスの 内容変更(経緯、変更内容、変更に伴う 事務処理及び手順等) ・質疑応答
3/2	安全管理講習会	95 名	全就業会員を対象に開催 ・令和3年度の事故状況について、 ・交通安全教育について
3/16	除草班長会議	9 名	除草班長を対象に開催 ・安全就業 ・各種注意・連絡事項 ・除草ごみ回収徹底について ・感染拡大下における対応について ・事故取扱基準の一部改正について ・各種料金・手数料改定 ・GW 期間中の配送・回収について
3/17	植木班新班長・新副班長 研修会	新副班長 4 名	植木班新班長・新副班長を対象に開催 ・顧客対応時の注意点について

○女性向け講習会と組み合わせた入会説明会を実施しました。

開催日	参加者数	内容
6/28、7/8	延 13 名	・女性会員が講師となったリンパマッサージ講習
3/1	6 名	・女性会員が講師となった巾着作り講習

○女性会員増強のために、洋服などのリフォームと小物作りをする「リフォーム手作り工房『縫』(ぬい)」により、事業団窓口や市役所出張所等での販売などを行いました。

年 度	手作り品の作製と販売			服のリフォーム			マスクの製作販売		
	販売数 (個)	延人員 (人)	売上金額 (円)	件数 (件)	延人員 (人)	売上金額 (円)	件数 (件)	延人 員 (人)	売上金額 (円)
2	1,192	379	393,930	52	295	749,406	1,115	142	256,840
3	282	60	111,150	43	199	614,603	52	22	14,350

○神奈川県シルバー人材センター連合会と共催で、入会を条件とした介護補助スタッフ講習会を開催しました。

○県立西部総合職業技術校(かなテクカレッジ西部)との連携により、技術を持った高齢者の入会促進を行いました。

2 組織機能の強化

○地区班員からの要望や意見の協議、事業団の方針、情報等を地区班員へ周知すること

どを目的とした「地区班長連絡会議」を開催しました。

会議開催数：3回

○地区班の活動を支援するため、活動交付金を交付しました。

21地区：655,000円

○地区班代表の3名のブロック長を会員理事とし、会員による主体性・自発性を活かした組織運営を推進するため、「ブロック長会議」を開催しました。

会議開催数：3回

○会員在籍が20年、15年並びに10年の就業会員と地区班役員として6年以上にわたり事業団に貢献した会員82名を表彰しました。

○会員の主体的な社会貢献活動の支援として、ボランティア活動の推進をしました。

内容	従事者
地区公民館、小学校、子どもの家の屋外清掃	地区班1班、9人
地区公民館の障子張り替え	地区班1班、4人
地区公民館の植木のせん定	地区班1班、1人
公園での清掃、花植え（公園愛護会への協力）	地区班1班、延41人

3 健全な運営と財政的自立

○経営改革について、平塚市や事務局内部で検討を重ね、『平塚市生きがい事業団経営改革に係る構想』をまとめ、さらに、新規事業についても検討しました。

○国庫補助金の運営費は、前年と比べ2,487千円増の16,987千円を獲得し、市補助金も同額を獲得しました。

○公益財団法人JKA（公営競技の競輪事業等を支援する団体）が行う新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対する支援事業として218千円の補助金を獲得しました。

○平塚市で導入している「職員人事評価システム」を取り入れ、プロパー職員の人材育成と能力開発の推進を図りました。

○定年延長制度を踏まえ、今後の職員体制の方針を決定しました。

4 就業機会の拡大

○神奈川県下水道公社、東海大学、株式会社ヨーク、バンテックなど大口受注先を中心に訪問し、さらなる受注の依頼をしました。

○特殊技能を持たれた方々の活躍の場となっている「寺子屋事業」を展開しました。

年度	内容	延人員(人)	配分金(円)	契約金額(円)
2	継続 書道教室、おさらい教室、パソコン教室他	1,618	3,798,744	4,502,317
	単発 夏休みおさらい教室、パソコン指導他	103	158,720	182,189
3	継続 書道教室、おさらい教室、パソコン教室他	2,181	5,403,591	6,381,097
	単発 夏休みおさらい教室、パソコン指導他	85	126,497	139,145

○会報「いきがい広場」にて、就業情報説明会・相談会の参加募集を行い、希望者には個別相談によりマッチングを行い、未就業会員の就業に繋げました。

年度	実施日	参加者数(人)
2	1回目 7/27	8

	2回目 11/30	21
	3回目 3/22	9
3	1回目 7/26	5
	2回目 11/29	24
	3回目 3/28	5

○平成28年より開始した「介護予防・日常生活支援総合事業」の訪問型サービスAを展開しました。

年度	受注件数(件)	就業延人員(人)	契約金額(千円)
2	39	1,811	2,897
3	40	1,737	2,779

○公共事業を受注するために、平塚市の部長会議の場で福祉部長より、課長には各課長宛依頼文書にて、生きがい事業団活用の依頼を行いました。

○平塚市との「空家等対策における連携及び協力に関する協定」に基づき、空家関連事業のPRを行いました。

受注内容	件数(件)	契約金額(円)
空家管理(状況報告)	3	92,400
空家等の植木せん定	14	563,090
空家等の除草、草刈り	74	2,173,193
合計	91	2,828,683

○派遣のパンフレットを商工会議所の会報と一緒に市内企業等に3,500部を配布しました。

○植木や除草等の受注企業等190社に派遣のパンフレットを送付し、会員の就業に繋げました。

○IT班会員の技術や経験を活用できる事業としてリモート環境づくりのサポートができな
いか検討し、一部のパソコン教室はオンラインを導入しました。また、特別教室としてZOOM
教室も開催しました。

○市高齢福祉課の要請を受け、60歳以上の市民向けにらくらくスマホ体験会を38回開催
し、179名が参加しました。

○市地域包括ケア推進課より、福祉村スタッフと利用者の連絡を目的としたLINE、ZOOMを
活用したスマホ教室を受注し、4拠点に対し実施しました。

○ドローン事業について調査をしましたが、ライセンス制度が創設され操縦免許の取得が必
要となること、100g以上の機体が新規に規制対象となったこと、平塚市の大半がD I
D(人口密集地)当該地区に該当し、航空法の改正予定が令和4年12月に予定されてい
ることから事業着手困難と判断しました。今後も新たな事業を模索します。

5 就業の適正化

○事業所等からの発注で請負・委任になじまないものは、労働者派遣事業・有料職業紹介事
業で対応し、適正就業の推進と就業の場の拡大を図りました。

労働者派遣事業

年度	派遣件数(件)	年間実就業会員数(人)	契約金額(千円)
2	128	268	133,054
3	135	275	156,061

有料職業紹介事業

年度	紹介件数(件)	年間就業会員数(人)	賃金金額(千円)
2	1	9	669
3	0	0	0

○業務拡大（派遣業務の就業時間延長）について、神奈川県シルバー人材センター連合会の協力を得て、神奈川県知事の指定を受けました。

年度	業種数	該当会員数
2	2	2名
3	8	9名

6 情報の発信

○会報「いきがい広場」の発行、ホームページ、新聞社等メディアへの情報提供、地区班による公民館まつりへの参加などを通じて市民へのPRに努めました。

事業	内容
会報「いきがい広場」の発行	5月、9月、1月の年3回発行しました。
メディアへの情報提供	湘南ジャーナルへ事業団の広告や寺子屋事業の参加者募集を掲載しました。また、事務系職種に従事する会員紹介をする記事の特集を掲載しました。 事業団のPRを行い、新規会員の入会促進や仕事の新規開拓を行いました。
生きがい事業団まつり	10月14日から6日間開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により中止としました。
公民館まつり	新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、公民館まつりは中止又は利用団体の作品展示のみとなったため、地区班は5班の参加となりました。
所有車へのマグネット広告・ペイント広告	会員募集や仕事募集の広告を掲示しました。
ホームページの更新	職員がリアルタイムに情報を提供しました。

○2週間おきに就業情報を更新し、ハローワークに配架、仮会員、新規入会会員に配布し、他にもホームページや会報に情報を掲載しました。就業情報を公開して希望会員を募ることで、公平な就業機会の提供につながっています。

7 行政・地域関係団体との連携

○理事長及び会員理事による市長面談を行い、事業団への支援要請を行いました。

○平塚市と事業団で協議を重ね、「平塚市生きがい事業団経営改革に係る構想」を策定し、その中で、新規就業機会についても検討しました。

- 平塚市の協力を得て、市役所本館 1 階多目的スペースで毎月第 3 火曜日に、「平塚市生きがい事業団出張所」を開設し、事業団の PR に努めました。
- 近隣シルバー人材センターと一緒にハローワーク担当者と情報交換をしました。
- ハローワークが事業団あてに紹介状を発行することにより、就業を希望する高齢者の入会に向け連携しました。
- 平塚市が主催する面接会等に事務局職員が出席しました。

開催日	名称	主催者
11/14、 2 回目はコロナにより中止	高齢者向け就労支援セミナー・ 個別相談会	平塚市高齢福祉課

- 「介護予防・日常生活支援総合事業」を展開するため、市地域包括ケア推進課の A 類型サービス従事者研修に会員が参加しました。
- 事務所や作業所が手狭なため、平塚市に事務所移転の要望をしました。

8 安全対策

- 安全就業実施計画に基づき、安全管理委員会を中心に事故分析や事故防止策を立案するとともに、安全管理委員による現場巡回視察での安全指導など会員の安全就業に努めました。
- 全会員に向けた会報「いきがい広場」で安全就業へのメッセージと題した記事を掲載し、安全就業の啓発を行いました。また、安全管理委員会の議事抄録を配布して情報提供することにより、安全就業に努めました。
- 熱中症警戒アラートの全国本格運用に合わせ WBGT（暑さ指数）簡易測定器を導入しました。さらに、熱中症警戒アラート区分に応じた事業団独自の対応基準「熱中症予防マニュアル」も示し、現場の意見を反映させた基準策定の準備をしました。
- 会員の安全を確保するため実情に合った作業内容を適宜に調整が出来るように作業別安全・適正就業基準を現基準から分離し、理事長が定められるようにしました。
- 会員による賠償事故が多く、賠償責任保険で対応していますが、賠償額も多くなっている現状を踏まえ、会員による故意または過失により事故の損害が発生した場合、当該会員に費用の一部を負担させることが出来るよう事故取扱基準を改正しました。

評議員会に関する事項

1 評議員会の開催状況

開催年月日	会議名	議案番号等	件名
令和 3.4.1	第 1 回臨時評議員会（決議省略）	第 1 号議案－ 1	理事の選任について
		第 1 号議案－ 2	〃
		第 1 号議案－ 3	〃
令和 3.5.25	定時評議員会	報告 第 2 号議案 報告	評議員選任の報告について 令和 2 年度公益財団法人平塚市生きがい事業団事業報告及び決算の承認について 令和 3 年度公益財団法人平塚市生きがい事業団事業計画及び予算の報告について

2 評議員名簿

氏名	就任日	退任日	備考
井上俊介	平成 28 年 5 月 24 日	令和 6 年度の定時評議員会の終結の時まで	
岩崎和子	令和 2 年 4 月 13 日	〃	
梅原謙司	平成 24 年 4 月 1 日	〃	
黄川田文七	令和 2 年 5 月 25 日	令和 3 年 1 1 月 5 日	
澤野重次郎	平成 29 年 12 月 1 日	令和 6 年度の定時評議員会の終結の時まで	
杉崎静男	令和 2 年 10 月 2 日	〃	
杉山善弥	令和 3 年 11 月 5 日	〃	
常盤卓嗣	平成 28 年 7 月 26 日	〃	
鳥海衡一	令和 2 年 5 月 25 日	〃	
中津川隆則	平成 28 年 5 月 24 日	〃	
村田泰幸	令和 2 年 5 月 25 日	〃	

理事会に関する事項

1 理事会の開催状況

開催年月日	会議名	議案番号等	件名
令和 3.4.1	第 1 回臨時 理事会（決 議省略）	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案 第 4 号議案	決議省略によるみなし評議員会について 常務理事（代表理事）の選任について 事務局長の選任について 安全管理委員の選任について
令和 3.5.10	第 1 回定時 理事会	第 5 号議案 第 6 号議案 第 7 号議案 報告	令和 2 年度公益財団法人平塚市生きがい事業団事業 報告及び決算の承認について 令和 3 年度公益財団法人平塚市生きがい事業団補正 予算（第 1 号）について 令和 3 年度定時評議員会の開催について 令和 2 年度業務状況報告について
令和 3.11.10	第 2 回臨時 理事会（決 議省略）	第 8 号議案	令和 3 年度公益財団法人平塚市生きがい事業団補正 予算（第 2 号）について
令和 4.3.15	第 2 回定時 理事会	第 9 号議案 第 10 号議案 第 11 号議案 第 12 号議案 第 13 号議案 第 14 号議案 第 15 号議案 第 16 号議案 第 17 号議案 報告	令和 3 年度公益財団法人平塚市生きがい事業団補正 予算（第 3 号）について 公益財団法人平塚市生きがい事業団第 5 次中期計画 について 令和 4 年度公益財団法人平塚市生きがい事業団事業 計画について 令和 4 年度公益財団法人平塚市生きがい事業団予算 について 令和 4 年度の資金調達及び設備投資の見込みにつ いて 公益財団法人平塚市生きがい事業団会員規程の一部 を改正する規程について 公益財団法人平塚市生きがい事業団安全・適正就業 基準の一部を改正する基準について 公益財団法人平塚市生きがい事業団事故取扱基準の 一部を改正する基準について 公益財団法人平塚市生きがい事業団就業年齢ガイド ライン設定規程の一部を改正する規程について 令和 3 年度業務状況報告について

2 役員名簿

役職名	氏名	就任	任期	備考
理事長	升水一義	平成30年5月25日	令和4年度の定時評議員会の終結の時まで	
常務理事	鈴木千代治	平成29年11月1日	令和3年4月1日	
〃	佐野勉	令和3年4月1日	令和4年度の定時評議員会の終結の時まで	
理事	赤羽まさ子	令和2年5月25日	〃	
〃	岩本英裕	令和3年4月1日	〃	
〃	植松豊夫	令和2年5月25日	令和3年4月1日	
〃	久保井直次	平成30年5月25日	令和4年度の定時評議員会の終結の時まで	
〃	久保利秋	令和2年4月20日	令和3年4月1日	
〃	坂井久美子	令和2年5月25日	令和4年度の定時評議員会の終結の時まで	
〃	羽角俊夫	令和2年5月25日	〃	
〃	濱島輝	平成30年5月25日	〃	
〃	平田尊	令和3年4月1日	〃	
〃	吉澤重俊	令和2年5月25日	〃	
監事	池谷好秀	〃	〃	
〃	橋本正秋	平成24年4月1日	〃	

配分金等に関する事項

(令和3年度)

月	会員数 (人)	就業実人 員 (人)	受注件数 (件)	就業延人 員 (人)	配分金額 (円)	契約金額 (円)
4	1,783	745	713	8,497	35,524,361	40,812,570
5	1,791	751	399	9,023	39,015,838	45,410,612
6	1,797	757	460	9,992	43,551,486	51,377,021
7	1,808	762	454	9,653	42,175,912	49,992,869
8	1,817	689	304	8,159	33,396,192	38,647,000
9	1,828	752	442	9,589	41,286,239	49,241,317
10	1,829	766	573	10,266	45,890,575	54,515,839
11	1,839	731	481	9,976	44,553,030	52,726,652
12	1,847	712	396	8,397	36,081,935	42,160,792
1	1,858	698	191	7,175	30,771,826	35,300,869
2	1,867	694	194	7,128	29,858,657	34,247,619
3	1,878	705	104	7,331	31,459,983	39,677,277
計		8,762	4,711	105,186	453,566,034	534,110,437

派遣事業を含めた実績

年度	区分	受注件数 (件)	就業実人 員 (人)	就業延人員 (人)	配分金額/賃 金 (円)	契約金額 (円)
2	請負・委任	4,649	908	101,669	425,456,409	503,558,630
	派遣事業	128	268	23,548	103,988,050	133,054,152
	計	4,777	1,176	125,217	529,444,459	636,612,782
3	請負・委任	4,711	909	105,186	453,566,034	534,110,437
	派遣事業	135	275	27,224	123,147,665	156,061,507
	計	4,846	1,184	132,410	576,713,699	690,171,944

決 算 書

令和 3 年 4 月 1 日

）

令和 4 年 3 月 31 日

貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	20,580	32,016	△ 11,436
当座預金	30,829,047	26,086,865	4,742,182
郵便振替口座	379,605	768,462	△ 388,857
普通預金	12,244,544	21,122,504	△ 8,877,960
未収金	49,591,418	46,379,269	3,212,149
前払金	32,000	32,000	0
流動資産合計	93,097,194	94,421,116	△ 1,323,922
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	2,000,000	2,000,000	0
基本財産合計	2,000,000	2,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	36,062,530	34,302,580	1,759,950
減価償却引当資産	21,544,773	18,641,761	2,903,012
財政運営資金積立資産	6,000,000	3,000,000	3,000,000
特定資産合計	63,607,303	55,944,341	7,662,962
(3) その他固定資産			
車輛運搬具	3,529,806	5,239,092	△ 1,709,286
什器備品	994,029	1,179,256	△ 185,227
リース資産	0	1,216,944	△ 1,216,944
電話加入権	149,968	149,968	0
出資金	30,000	30,000	0
預託金	89,398	89,398	0
その他固定資産合計	4,793,201	7,904,658	△ 3,111,457
固定資産合計	70,400,504	65,848,999	4,551,505
資産合計	163,497,698	160,270,115	3,227,583
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	36,617,820	37,383,081	△ 765,261
前受金	10,865	12,474	△ 1,609
預り金	26,455	57,940	△ 31,485
期末勤勉手当引当金	3,693,300	3,813,496	△ 120,196
流動負債合計	40,348,440	41,266,991	△ 918,551
2. 固定負債			
退職給付引当金	36,062,530	34,302,580	1,759,950
リース負債	0	1,216,944	△ 1,216,944
固定負債合計	36,062,530	35,519,524	543,006
負債合計	76,410,970	76,786,515	△ 375,545
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2,000,000	2,000,000	2,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
85,086,728	85,086,728	81,483,600	3,603,128
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(27,544,773)	(21,641,761)	(5,903,012)
正味財産合計	87,086,728	83,483,600	3,603,128
負債及び正味財産合計	163,497,698	160,270,115	3,227,583

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	531,331,237	500,661,030	30,670,207
受取配分金	451,571,634	423,436,189	28,135,445
受取材料費等	35,390,239	35,596,034	△ 205,795
受取事務費	44,369,364	41,628,807	2,740,557
労働者派遣事業等受託収益	11,757,735	11,410,487	347,248
労働者派遣事業等受託収益	11,757,735	11,410,487	347,248
有料職業紹介事業受託収益	0	73,643	△ 73,643
有料職業紹介事業受託収益	0	73,643	△ 73,643
介護予防日常生活支援総合事業収益	2,779,200	2,897,600	△ 118,400
介護予防保険報酬収益	2,779,200	2,897,600	△ 118,400
管理受託事業収益	972,840	1,034,255	△ 61,415
技能センター維持管理業務受託収益	972,840	1,034,255	△ 61,415
基本財産運用益	34	117	△ 83
基本財産受取利息	34	117	△ 83
高齢者活躍人材確保育成事業受託収	392,371	326,540	65,831
高齢者活躍人材確保育成事業受託収	392,371	326,540	65,831
受取会費	304,500	246,000	58,500
正会員受取入会手続手数料	304,500	246,000	58,500
受取補助金等	33,974,000	29,558,000	4,416,000
受取連合交付金	16,987,000	14,500,000	2,487,000
受取(市)補助金	16,987,000	15,058,000	1,929,000
特定資産運用益	1,463	4,454	△ 2,991
特定資産受取利息	1,463	4,454	△ 2,991
雑収益	218,443	75,900	142,543
雑収益	218,443	75,900	142,543
経常収益計	581,731,823	546,288,026	35,443,797
(2) 経常費用			
事業費	568,805,398	533,463,878	35,341,520
支払配分金	453,566,034	425,456,449	28,109,585
支払材料費等	28,936,197	25,252,245	3,683,952
給料手当	27,499,302	27,131,022	368,280
期末勤勉手当引当金繰入額	3,476,000	3,638,496	△ 162,496
臨時雇賃金	21,612,973	19,165,600	2,447,373
退職給付引当金繰入額	1,759,950	2,233,990	△ 474,040
法定福利費	6,132,275	5,541,446	590,829
退職給付費用	764,640	391,230	373,410
福利厚生費	302,831	318,809	△ 15,978
会議費	22,719	42,669	△ 19,950
旅費交通費	9,660	20,260	△ 10,600
通信運搬費	2,671,372	2,545,690	125,682
減価償却費	2,907,949	2,753,315	154,634
什器備品費	0	147,730	△ 147,730
消耗品費	432,680	376,574	56,106
修繕費	82,135	42,820	39,315
印刷製本費	999,360	1,011,235	△ 11,875
光熱水料費	843,053	632,465	210,588
賃借料	1,776,644	1,756,224	20,420
保険料	4,827,930	4,644,530	183,400
諸謝金	701,700	726,900	△ 25,200
租税公課	4,705,400	4,680,000	25,400
支払負担金	4,500	0	4,500
組織活動助成費	655,000	641,296	13,704
委託費	3,979,377	4,159,763	△ 180,386
教材費	24,371	8,947	15,424

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
支払手数料	80,805	82,570	△ 1,765
貸倒損失	26,451	40,298	△ 13,847
雑費	4,090	21,305	△ 17,215
管理費	9,323,297	7,760,829	1,562,468
役員報酬	4,765,094	3,541,787	1,223,307
期末勤勉手当引当金繰入額	217,300	175,000	42,300
法定福利費	687,214	551,793	135,421
退職給付費用	103,680	45,360	58,320
福利厚生費	29,200	29,200	0
役員等旅費交通費	2,064	3,240	△ 1,176
通信運搬費	65,689	54,231	11,458
減価償却費	352,228	393,411	△ 41,183
什器備品費	81,382	12,349	69,033
消耗品費	156,924	133,684	23,240
修繕費	138,600	133,892	4,708
印刷製本費	93,720	81,730	11,990
光熱水料費	210,764	158,112	52,652
賃借料	357,816	354,816	3,000
保険料	28,700	28,700	0
諸謝金	0	30,000	△ 30,000
支払負担金	248,500	248,500	0
会員福利厚生費	50,000	0	50,000
委託費	1,646,209	1,704,791	△ 58,582
支払手数料	5,213	6,233	△ 1,020
雑費	83,000	74,000	9,000
経常費用計	578,128,695	541,224,707	36,903,988
評価損益等調整前当期経常増減額	3,603,128	5,063,319	△ 1,460,191
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,603,128	5,063,319	△ 1,460,191
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	1	△ 1
車両運搬具除却損	0	1	△ 1
経常外費用計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	△ 1	1
当期一般正味財産増減額	3,603,128	5,063,318	△ 1,460,190
一般正味財産期首残高	81,483,600	76,420,282	5,063,318
一般正味財産期末残高	85,086,728	81,483,600	3,603,128
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産期末残高	2,000,000	2,000,000	0
III 正味財産期末残高	87,086,728	83,483,600	3,603,128

財産目録

令和4年3月31日現在

科目	使用目的等	金額
I 資産の部		
1.流動資産		
現金預金		
現金手許有高	運転資金として	20,580
当座預金 平塚信用金庫 本店営業部	運転資金として	30,829,047
普通預金 平塚信用金庫 本店営業部	運転資金として	3,843,659
普通預金 平塚信用金庫 本店営業部	補助金入金用として	3,777,000
普通預金 湘南農業協同組合 平塚支店	運転資金として	4,520,507
郵便振替口座 ゆうちょ銀行	運転資金として	379,605
普通預金 三菱UFJ銀行 平塚支店	特定資産利息振込用	103,378
現金預金計		43,473,776
未収金 平塚市他369件	受取配分金他	37,833,683
(公社)神奈川県シルバー人材センター連合会	派遣事務手数料	11,757,735
未収金計		49,591,418
前払金	次年度役員保険料	32,000
流動資産合計		93,097,194
2.固定資産		
(1)基本財産		
定期預金 三菱UFJ銀行 平塚支店	平塚市からの出資金	2,000,000
基本財産合計		2,000,000
(2)特定資産		
退職給付引当資産 定期預金 平塚信用金庫 本店営業部	職員4名の退職金の支払に備えたもの	30,389,740
退職給付引当資産 定期預金 三菱UFJ銀行 平塚支店	職員4名の退職金の支払に備えたもの	5,672,790
減価償却引当資産 定期預金 三菱UFJ銀行 平塚支店	車両等の減価償却累計額相当	8,534,684
減価償却引当資産 定期預金 平塚信用金庫 本店営業部	車両等の減価償却累計額相当	13,010,089
財政運営資金積立資産 定期預金 平塚信用金庫 本店営業部	公益目的事業のシルバー人材センター事業の財源として使用する資産	6,000,000
特定資産合計		63,607,303
(3)その他の固定資産		
車両運搬具 車両11台	公益目的保有財産でありシルバー人材センター事業に使用している	3,529,806
什器備品 紙折り機等9点	公益目的保有財産でありシルバー人材センター事業に使用している	683,626
什器備品 耐火金庫等5点	事務所使用	310,403
リース資産 業務システムサーバー他周辺機器	事務所使用	0
電話加入権	事務所使用	149,968
預託金	公益目的保有財産である車両のリサイクル預託金	89,398
出資金	平塚信用金庫	30,000
その他の固定資産合計		4,793,201
固定資産合計		70,400,504
資産合計		163,497,698
II 負債の部		
1.流動負債		
未払金 事業団会員	3月度配分金等支払712件	31,773,213
平塚市他	事業に係る経費(業者支払分・消費税等)	3,837,326
人件費(職員、社会保険)	3月分時間外手当、社会保険料・企業年金3月分	1,007,281
未払金計		36,617,820
前受金	次年度前受金4件	10,865
預り金	所得税、雇用保険	26,455
期末勤労手当引当金	令和3年12月から令和4年3月まで4か月分	3,693,300
流動負債合計		40,348,440
2.固定負債		
退職給付引当金	職員退職金要支給額	36,062,530
リース負債 業務システムサーバー他周辺機器		0
固定負債合計		36,062,530
負債合計		76,410,970
正味財産		87,086,728

公益目的保有財産の明細

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	公益認定後取得 不可欠特定財産	その他の公益目的保有財産	使用事業
車両			塵芥車等車両 11台 3529806円	シルバー人材 センター運営事業
什器			紙折り機等 9点 683,626円	シルバー人材 センター運営事業
預託金			公益目的保有財産である車両のリサイクル預託金 89,398円	シルバー人材 センター運営事業
合計			4,302,830円	

財務諸表に対する注記

1. 適用する会計基準

財務諸表は平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会制定の「公益法人会計基準」に準拠して作成している。

2. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

3. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により直接減価償却を実施している。

なお、当事業年度から取得した有形固定資産については、残存価額を零とし、償却累計額が当該資産の取得価額から備忘価額(1円)を控除した金額に達するまで償却する方法を採用している。

(4) 引当金の計上方法

退職給付引当金は、期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。

期末勤労手当引当金は12月から3月までの4か月分を計上している。

(5) リース取引の処理方法

総額300万円超の所有権移転外ファイナンス・リース取引についてリース会計基準を適用している。

なお、減価償却についてはリース期間定額法による。

(6) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式による。

4. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)				
科目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
基本財産				
定期預金	2,000,000	0	0	2,000,000
小計	2,000,000	0	0	2,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	34,302,580	1,759,950	0	36,062,530
減価償却引当資産	18,641,761	2,903,012	0	21,544,773
財政運営資金積立資産	3,000,000	3,000,000	0	6,000,000
小計	55,944,341	7,662,962	0	63,607,303
合計	57,944,341	7,662,962	0	65,607,303

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)				
科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	2,000,000	2,000,000	0	0
小計	2,000,000	2,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	36,062,530	0	0	36,062,530
減価償却引当資産	21,544,773	0	21,544,773	0
財政運営資金積立資産	6,000,000	0	6,000,000	0
小計	63,607,303	0	27,544,773	36,062,530
合計	65,607,303	2,000,000	27,544,773	36,062,530

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	21,933,858	18,404,052	3,529,806
什器備品	4,026,232	3,032,203	994,029
リース資産	6,084,720	6,084,720	0
合計	32,044,810	27,520,975	4,523,835

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
運営補助金	国	0	16,987,000	16,987,000	0	—
運営補助金	市	0	16,987,000	16,987,000	0	—
コロナ対策補助事業補助金	JKA	0	216,920	216,920	0	—
合計		0	34,190,920	34,190,920	0	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記5で記載しているので省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)


科目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
退職給付引当金	34,302,580	1,759,950	0	36,062,530
小計	34,302,580	1,759,950	0	36,062,530
期末勤勉手当引当金	3,813,496	3,693,300	3,813,496	3,693,300
小計	3,813,496	3,693,300	3,813,496	3,693,300
合計	38,116,076	5,453,250	3,813,496	39,755,830


監査報告書

公益財団法人平塚市生きがい事業団
理事長 升水 一義 様

令和4年5月6日

公益財団法人平塚市生きがい事業団

監事 橋本正秋 

監事 池谷好秀 

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 1 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 2 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上